

# 評価結果概要表

## 【事業所概要（事業所記入）】

|         |                  |
|---------|------------------|
| 事業所番号   | 3873700383       |
| 法人名     | 医療法人社団みのり会       |
| 事業所名    | グループホームまほろば      |
| 所在地     | 愛媛県西予市三瓶町朝立2-1-7 |
| 自己評価作成日 | 平成23年10月1日       |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS            |
| 所在地   | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成23年11月15日               |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

四季を感じるイベントを行ったり、飾り等を一緒に手作りしている。  
入居者の方には、出来ることは何でもしていただき家庭的に暮らせるように心掛けている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 地域の夜市や秋祭りを見学に出かけておられる。併設のデイサービスとともに芋炊きや文化祭を催し、地域の方達にも案内して交流されている。地域の方から野菜をいただいたり、事業所の畑の草引きを手伝ってくださることもある。又、高校生の職場体験を受け入れておられたり、ボランティアの方も来られていて、利用者とお話等して過ごされている。新しい建物は、1階にデイサービス、2階に2ユニットのグループホームが設置されるため、今後はさらに、デイサービスやユニット間で交流を持つ機会を多く作りたいと考えておられる。
- 近くのお地蔵さんにお参りして、掃除をされている利用者の方もいる。2日に1回、ご家族の送迎で、ご自宅の犬の散歩と餌やりを続けておられる利用者の方がいる。ご家族の帰省時には、ご自宅に外泊される利用者の方は、ご自宅でご家族と一緒におまんじゅうやお団子を作って、皆へのおみやげに持ち帰ってくださる。時にはご家族が居室に泊まり、ゆっくりと過ごして帰られることもある。

## ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印                                        | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当する項目に○印                                          |
|-----|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>（参考項目：23,24,25）     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>（参考項目：9,10,19）    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>（参考項目：18,38）           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>（参考項目：2,20）                       |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>（参考項目：38）                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>（参考項目：4） |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>（参考項目：36,37）   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>（参考項目：11,12）                                        |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>（参考項目：49）                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                         |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>（参考項目：30,31）       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>（参考項目：28） | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                       |

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホームまほろば

(ユニット名)

2階ユニット

記入者(管理者)

氏名

菊池 文孝(管理者)  
伊藤 奈津美 宇都宮 美幸

評価完了日

平成23年 10月 1日

| 自己<br>評価        | 外部<br>評価 | 項 目                                                                          | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|-----------------|----------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <b>理念に基づく運営</b> |          |                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                 |                                 |
| 1               | 1        | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所<br>理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有<br>して実践につなげている   | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
|                 |          |                                                                              | 理念を記されたカードを配布されており、業務の中で話し合<br>われている。(対応の仕方を確認する時等)                                                                                                                                                                                             |                                 |
| 2               | 2        | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる<br>よう、事業所自体が地域の一員として日常的に<br>交流している   | (外部評価)                                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
|                 |          |                                                                              | 「地域の保健・医療・福祉に貢献するため、役職員一丸と<br>なって、知識・技術の向上につとめる」という法人理念のも<br>と、事業所の運営方針を7項目掲げておられる。職員は、法<br>人理念と運営方針が示されたカードを携帯して、日々確認し<br>ながらケアに取り組まれている。敷地内に新しい建物を建て<br>ておられ、事業所は近々引っ越しされる予定となっている。<br>管理者はこの機会を活かして、「すべての職員で理念につ<br>いて話し合う機会を作りたい」と、話しておられた。 |                                 |
| 3               |          | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症<br>の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向<br>けて活かしている | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                          |                                 |
|                 |          |                                                                              | 高齢者のいろいろな問題、悩み、ご家族、地域の方の悩みに<br>相談できるようにしている。                                                                                                                                                                                                    |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                          | 実践状況                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)                                                                       |                               |
|      |      |                                                                                             | 会議で話し合われた内容は、書面にて全職員が回覧し、今後のケアに活かしている。                                       |                               |
|      |      |                                                                                             | (外部評価)                                                                       |                               |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)                                                                       |                               |
|      |      |                                                                                             | 常時市との連絡、交流を図り情報を得たり、アドバイスを受けサービスの向上に努めている。                                   |                               |
|      |      |                                                                                             | (外部評価)                                                                       |                               |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)                                                                       |                               |
|      |      |                                                                                             | 意識してケアを行っている。報道等で話題になった時等、業務の中で話すことで再確認している。安全の為、やむをえない場合は、必ず家族の同意を得ている。     |                               |
|      |      |                                                                                             | (外部評価)                                                                       |                               |
|      |      |                                                                                             |                                                                              |                               |
|      |      |                                                                                             | 玄関は、昼間は自由に出入りできるようになっている。転倒の心配がある利用者には、ベット柵に鈴を付けて、鈴の音が鳴ると職員は、そっと居室内を確認されている。 |                               |
|      |      |                                                                                             |                                                                              |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ )                                                                                                                                                                    |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7    |      | <p>○ 虐待の防止の徹底<br/>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>      | <p>(自己評価)</p> <p>業務の中でニュース等、話題になったことが話し合わせ、お互いが注意するよう努めている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    |
| 8    |      | <p>○ 権利擁護に関する制度の理解と活用<br/>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>法人内の勉強会で学んでいるが、実際には対応したことはない。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                    |
| 9    |      | <p>○ 契約に関する説明と納得<br/>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                      | <p>(自己評価)</p> <p>重要事項、運営方針などの説明を充分し、納得していただき同意を得ている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                    |
| 10   | 6    | <p>○ 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br/>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                   | <p>(自己評価)</p> <p>普段から、話しやすい環境を作れるよう努力しており、面会の際、要望を聞くようにしている。入居者については、困ったことがないか注意して接するようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎月、利用者の様子を書いた手紙と、ご本人の写真も同封し、ご家族に送付されている。3ヶ月毎の「まほろば新聞」には、お誕生日を迎えた利用者の紹介や職員の異動の報告、担当職員からのメッセージを載せておられる。又、利用者の誕生日には、「誕生日新聞」を作成してご家族に送っておられる。ご家族の来訪時にも、日頃の様子を報告して、意見や要望をお聞きしている。「芋炊き」の行事時等には、ご家族同士で交流を図っておられる。</p> | <p>今後さらに、ご家族とお話しするような機会を積極的に作り、コミュニケーションを図って、信頼関係をより深めていけるよう取り組んでいかれてほしい。ご家族が意見や感想を具体的に出しやすいように、働きかけや質問の仕方等にも工夫されてみてはどうだろうか。利用する側であるご家族からの声は、事業所をよくするためにきっかけにもなることから、意見や要望を引き出せるよう努力していかれてほしい。</p> |

| 自己<br>評価           | 外部<br>評価 | 項<br>目                                                                                          | 実践状況                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|--------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 11                 | 7        | ○ 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見<br>や提案を聞く機会を設け、反映させている                                  | (自己評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | スタッフミーティング、委員会で話し合われたことは職員の意見として提示している。                                           |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | (外部評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | 事業所には、3つの委員会があり、「業務改善委員会」「行事委員会」「園芸委員会」、職員はそれぞれに所属して、アイディアや意見を出し合って責任を持って活動されている。 |                                 |
| 12                 |          | ○ 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | (自己評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | 毎年、自己評価が行われ、職場へ対する要望等提出し、面接が行われて、疑問に思っていることや気づいた事、今後の目標を個人的に話し合う機会がもたれている。        |                                 |
| 13                 |          | ○ 職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | (自己評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | 研修の案内、又、資格取得に向けてのバックアップがある。                                                       |                                 |
| 14                 |          | ○ 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | 以前は、よく行われていたが、最近は同業者との交流が減ってきている。                                                 |                                 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |          |                                                                                                 |                                                                                   |                                 |
| 15                 |          | ○ 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | (自己評価)                                                                            |                                 |
|                    |          |                                                                                                 | 本人と積極的に接することで早く理解できるように努めている。又、職員同士の情報交換でいろいろな場面を知ることができ、少しでも早く安心して暮らせるようにケアしている。 |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                        | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 16   |      | <p>○ 初期に築く家族等との信頼関係<br/>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>     | <p>(自己評価)</p> <p>利用に先立ち家族の心配や要望を聞き、話し合い家族の納得を得るように努めている。</p>                                                                                                                                                                                                                    |                               |
| 17   |      | <p>○ 初期対応の見極めと支援<br/>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>相談内容をよく聞き、本人が必要としているサービスにつながるように努めている。</p>                                                                                                                                                                                                                     |                               |
| 18   |      | <p>○ 本人と共に過ごし支えあう関係<br/>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                    | <p>(自己評価)</p> <p>日常生活の中で、本人に出来ることは、いろいろお手伝いしていただき、お互いに「ありがとう」と言い合える関係がつけられるよう努めている。</p>                                                                                                                                                                                         |                               |
| 19   |      | <p>○ 本人を共に支えあう家族との関係<br/>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>     | <p>(自己評価)</p> <p>毎月のお便りでホームでの現在の状態をお知らせしている。面会の際には、家族でなければ得られない笑顔があることをお伝えしている。</p>                                                                                                                                                                                             |                               |
| 20   | 8    | <p>○ 馴染みの人や場との関係継続の支援<br/>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>                 | <p>(自己評価)</p> <p>知人、友人の方の面会時には、居室にてゆっくり過ごしていただいている。訪問しやすい環境作りに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>近くのお地藏さんにお参りして、掃除をされている利用者の方もいる。2日に1回、ご家族の送迎で、ご自宅の犬の散歩と餌やりを続けておられる利用者の方がいる。ご家族の帰省時には、ご自宅に外泊される利用者の方は、ご自宅でご家族と一緒にたまじゅうやお団子を作って、皆へのおみやげに持ち帰ってくださる。時にはご家族が居室に泊まり、ゆっくりと過ごして帰られることもある。</p> |                               |

| 自己<br>評価                          | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                  | 実践状況                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|-----------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 21                                |          | ○ 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>利用者の性格や行動を理解し、利用者同士がお互いに思いやり尊重しあえるよう援助している。                |                                 |
| 22                                |          | ○ 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>入院等で、他施設に移った場合でも、入居者と共にお見舞いや面会に行く等して、よりよい関係を維持できるように努めている。 |                                 |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |          |                                                                                      |                                                                      |                                 |
| 23                                | 9        | ○ 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>利用者の思いを理解すると共に、家族の意向も大切にしつつ、一人一人がよりよい生活を送っていただけるよう援助している。  |                                 |
|                                   |          |                                                                                      | (外部評価)<br>利用者の暮らし方の希望をお聞きしたり、日々のかかわりの中から探り、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。   |                                 |
| 24                                |          | ○ これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>利用者、家族から話を聞いたり、日々の生活の中での声かけによって今までの生活環境を把握できるよう努めている。      |                                 |
| 25                                |          | ○ 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>利用者の日々の暮らしの中で健康状態に気を配りつつ、楽しみながら生活できるよう努めている。               |                                 |

| 自己<br>評価 | 外部<br>評価 | 項 目                                                                                                     | 実践状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 26       | 10       | ○ チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価)                                                                                               |                                 |
|          |          |                                                                                                         | 利用者ごとに担当職員を配置しており、本人、家族の意向をふまえた上で、職員全体でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。                                       |                                 |
|          |          |                                                                                                         | (外部評価)                                                                                               |                                 |
|          |          |                                                                                                         | ご本人、ご家族の意向や希望をお聞きしながら、介護計画を作成しておられる。介護計画は、6ヶ月ごとの見直しとなっているが、毎月カンファレンスでモニタリングして、状態変化があればその都度見直しをされている。 |                                 |
| 27       |          | ○ 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | (自己評価)                                                                                               |                                 |
|          |          |                                                                                                         | 利用者の日中帯、夜間帯の日々の様子を記録すると共に、申し送り等で職員間の情報を共有している。                                                       |                                 |
| 28       |          | ○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | (自己評価)                                                                                               |                                 |
|          |          |                                                                                                         | 看護師の週一回の訪問による健康管理、個別でのリハビリや散歩を行っている。地域行事等にも参加している。                                                   |                                 |
| 29       |          | ○ 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | (自己評価)                                                                                               |                                 |
|          |          |                                                                                                         | 利用者の意欲や、本人の趣味や楽しみ等を理解したうえで、それぞれが日々の生活の中で楽しみや、やりがいをもって生活できるよう心掛けている。                                  |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                                                   | 実践状況                                                                                                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○ かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | (自己評価)<br><br>法人内の病院ではかかりつけ医師がおり、家族の希望によっては他の病院、歯科医の訪問往診等、適切な治療が受けられるように支援している。                                                                                                                                         |                               |
|      |      |                                                                                                                      | (外部評価)<br><br>事業所隣接に法人の病院があり、利用者はいつでも受診でき、夜間や休診日には往診も受けられるようになっている。受診結果は、訪問看護師とも情報を共有されている。                                                                                                                             |                               |
| 31   |      | ○ 看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                        | (自己評価)<br><br>医療連携の訪問看護ステーションの訪問の際には、状態変化をきちんと伝えと共に、適切な助言を受けている。                                                                                                                                                        |                               |
|      |      |                                                                                                                      | (外部評価)                                                                                                                                                                                                                  |                               |
| 32   |      | ○ 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | (自己評価)<br><br>入院時には利用者の状態を正確に伝え、お見舞い時には利用者の日々の様子を確認しつつ、情報を得ることで、早期に退院できるように職員で協力し合い、連携している。                                                                                                                             |                               |
|      |      |                                                                                                                      | (外部評価)                                                                                                                                                                                                                  |                               |
| 33   | 12   | ○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | (自己評価)<br><br>重度化した場合でも、家族等の意向を聴き、医療関係との連携を図りつつ、必要な医療、介護が提供できるようにしている。                                                                                                                                                  |                               |
|      |      |                                                                                                                      | (外部評価)<br><br>利用者やご家族からは「ホームで最期まで居たい」と希望もあるが、状態変化時には主治医とも話し合い、ご家族の希望で入院となることも多い。管理者は「できる限り事業所で過ごしていただけるように取り組んでいきたい」と話しておられた。終末期の支援について、利用者が主体のケアに取り組む事業所として、利用者やご家族と早い段階から話し合うような機会を作り、最期までその人らしく暮らせるような支援に努めていかれてほしい。 |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ )                                                                           |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34   |      | <p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>看護師のアドバイスや勉強会に積極的に参加し、マニュアルに沿って急変時に応急手当て対応ができるよう学習している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                           |
| 35   | 13   | <p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>一年に二回の避難訓練を実施している。また法人内の近隣在住者の協力体制も組織化している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>避難訓練では、エレベーターは使えないことを想定して、利用者を防火扉の外に避難誘導するように訓練されている。消防署からは火災の連絡より先に、利用者の誘導を行うようアドバイスを受けられた。津波警報が発令された場合は、隣接の母体病院の4階に避難するようになっており、法人では、3日分の水分や食料が備蓄されている。運営推進会議時、家族代表の方からは、「南海地震で津波が発生した際の対策をしてほしい」という希望も出されている。災害時には、地域の方にも協力いただけるようお願いされている。</p> | <p>災害は、いつどのような時に起こるか分からないため、時間帯を替えたり、暑さ・寒さ・停電等、いろいろなことを想定して避難訓練を繰り返し行い、利用者を安全に避難させるための方法を検討していかれてほしい。</p> |
| 36   | 14   | <p>○ 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>         | <p>(自己評価)</p> <p>利用者一人一人に穏やかな声かけをすると共に、利用者と職員が一緒になって歌や踊り等を楽しまれている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者一人ひとりへの言葉のかけ方や言葉のアクセントにも気を付けておられる。職員は、利用者とのコミュニケーションが取りにくい時には、他の職員と交代して対応するようなこともある。</p>                                                                                                                                              |                                                                                                           |
| 37   |      | <p>○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>           | <p>(自己評価)</p> <p>利用者本人の意思を尊重しつつ、何事においても自己決定できるように支援している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                           |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、<br>一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ<br>うに過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br><br>利用者一人一人の生活リズムに気を配りながら、自分の<br>ペースで生活できるよう支援している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                 |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう<br>に支援している                                      | (自己評価)<br><br>定期的に美容師が訪問カットに来られている。一緒に服を選<br>んだり、髪飾り等でおしゃれを楽しめるよう支援している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好<br>みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に<br>準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br><br>調理の下準備等は利用者と一緒にやっている。入居者と職<br>員が同じテーブルで会話を楽しみながら食事をし、後片付<br>けも自分で出来る範囲でしていただいている。<br><br>(外部評価)<br><br>調査訪問時、昼食に使うゆで卵の皮をむいておられる利用<br>者がみられた。食事時には、みなのお茶を注いでくださったり、食後、ご自分の食器を下げて、洗っておられる方もおら<br>れた。お隣の席の利用者の食器を置き換えて、その方が食<br>べやすいように手助けされている利用者もおられた。職員が<br>隣りに座り同じものを食べながら、利用者が持つスプーンに<br>食べるものを乗せると、ご自分で口まで運び食事をされてい<br>た。利用者の状態に合わせて刻み食やミキサー食、とろみを<br>付けるなどの調理をされている。職員は、献立を説明しなが<br>ら介助されていた。食後はコーヒーを飲みながらおしゃべり<br>等を楽しんでおられた。職員は梅干しやジャム、まんじゅうや<br>芋団子等、利用者に教えてもらって手作りされている。 |                                 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ<br>て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣<br>に応じた支援をしている          | (自己評価)<br><br>栄養士による栄養のバランスのとれた、四季の食材を活かし<br>た献立作りをしている。食事や水分の摂取量を記録し職員<br>同士の情報を共有している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、<br>一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔<br>ケアをしている                   | (自己評価)<br><br>毎食後には口腔内の清潔を保つために、一人一人の能力<br>に合わせた口腔ケアを行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br><br>排泄チェックシートにて排泄パターンを記録するとともに、トイレの間隔があきすぎる時には、さりげない声かけを行ってトイレ誘導をしている。                                                                                               |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br><br>利用者一人ひとりに合わせてトイレ誘導と声かけをしておられる。昼食後、居室に向かう利用者に職員は、耳元で「トイレはいかがですか」と聞いておられた。                                                                                         |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br><br>便秘されている方には、水分や野菜を多く摂っていただいたり、便意がない時も食後にトイレ誘導をしマッサージ等を行っている。                                                                                                      |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br><br>一週間に三回の入浴を実施していますが、気持ちよく入浴できるように声かけをしたり、一緒に歌を歌う等、リラックスして入浴できるように支援しています。                                                                                         |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br><br>一週間に三回の入浴を実施していますが、気持ちよく入浴できるように声かけをしたり、一緒に歌を歌う等、リラックスして入浴できるように支援しています。                                                                                         |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)<br><br>現在は、利用者は、午前中に入浴することが多く、週3回を目安に支援されている。利用者の希望で、夏場は毎日シャワーを浴びる方もいる。ご自分で洗面器に石けんとタオルを用意している方もある。時には、利用者同士で誘い合ってお二人で入浴されることもある。全介助が必要な利用者は、職員2名で介助して、浴槽で温まれるよう支援されている。 |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br><br>居室に帰って休息されたいと言われる方に対しては、無理に起こしたりせず、ゆっくりと休んでいただいています。昼夜逆転にならないよう、日中楽しく過ごして安眠できるよう支援している。                                                                          |                               |
|      |      |                                                                                         | (外部評価)                                                                                                                                                                         |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目                                                                                                                   | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)                                                                                                 |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 47   |      | <p>○服薬支援<br/>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>                                           | <p>(自己評価)</p> <p>職員が管理しており、毎食前後に一人一人確認しながら手渡ししている。薬による症状の変化等を記録し情報を共有している。</p>                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                               |
| 48   |      | <p>○役割、楽しみごとの支援<br/>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>                              | <p>(自己評価)</p> <p>利用者一人一人がやりがいを持って、楽しみながら達成感を感じられるようなお手伝いをさせていただいたり、自分の趣味や楽しみ、と特技を発揮できるよう支援している。</p>                                                                                                                                                                              |                                                                                                                               |
| 49   | 18   | <p>○日常的な外出支援<br/>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>散歩をしたり、日光浴を楽しんだりしています。家族の方が来られ、一緒に外食に行かれたりする方もおられます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>散歩されたり、自治会の回覧板を利用者と職員で次へ回しておられる。近くの「海の駅」や公園にも出かけておられる。「帰りたい」という気持ちが強い時には、散歩に誘う等して気分転換できるよう支援されている。季節のお花見に出かけられることもあるが、職員は「外出が少なくなって来ている」ことを感じておられ、これからは「個別の支援」に取り組んでいきたいと考えておられた。</p> | <p>外出支援については、ご家族にも支援への要望や意見をお聞きするような機会を作ってはどうか。利用者が地域の中で暮らし続けることができるような支援に向けて、地域資源を活用しながら、利用者個々が暮らしを拡げていけるような支援に工夫されてほしい。</p> |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援<br/>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>                              | <p>(自己評価)</p> <p>現在、金銭の自己管理をされている方はおられません。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                               |
| 51   |      | <p>○電話や手紙の支援<br/>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                                       | <p>(自己評価)</p> <p>利用者の希望で自由に使用できます。家族からの手紙や写真を持って来ていただいています。</p>                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目                                                                                                                               | 実践状況                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容<br>( 外部評価のみ ) |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 52   | 19   | ○ 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | ベランダに季節の花を植えたり、昔の家具等で室内を親しみやすく暖かい雰囲気になるよう小物を飾っています。                                                                                                                                                                                                                                               |                                 |
| 53   |      | ○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | 廊下には、利用者の年代に懐かしい家具が置かれていて、その上には利用者が作ったお手玉や手まりが飾られていた。ソファーには、利用者手作りのパッチワークのクッションが置かれていて、利用者が脇に置いたり背中に当てて使用されていた。テーブルには菊の花を生けられており、観葉植物の鉢植えをところどころに配されている。3階では、利用者手作りのぬいぐるみのお地蔵さんが飾られていた。畳のコーナーでは、利用者が洗濯物をたたんでおられた。利用者が作った俳句や利用者の写真も飾られていた。簀にイチョウの葉を散らして、季節を感じられるような飾りを工夫されていた。壁には中振り袖の着物や帯も飾られていた。 |                                 |
| 54   | 20   | ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | 自分が慣れ親しんだ物を持ってこられており、一人一人の個性が活かされた居室になっています。                                                                                                                                                                                                                                                      |                                 |
| 55   |      | ○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | テーブルや椅子、タンス、時計、ソファー、洋服掛け、スタンドシルバーカー等、ご自宅で使っていたものを持って来られて使用しておられる。お位牌を置いておられる方もいた。ご家族の写真や猫の絵、自作の俳句や昔撮った三瓶町の写真を飾っておられる方もおられる。                                                                                                                                                                       |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | (自己評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 |
|      |      |                                                                                                                                   | 利用者一人一人の状態に合わせて手すりを設置したりして、安全確保に努めつつ自立できるように支援しています。                                                                                                                                                                                                                                              |                                 |